

科コード 11813	科 名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	18
科目コード 00231	科目名 服装造形	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：西平 孝子	共同担当者：1組＝西平 孝子 2組＝安島 直美
----------------	-------------------------

教育目標・レベル設定など

デザインの具現化を平面構成・立体構成と併用する理論を習得し作品制作する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

服装造形 論Ⅲ	前期1単位	後期1単位
服装造形 デザイン	前期3単位	後期3単位
服装造形 パターンメイキング	前期1単位	後期1単位
服装造形 ソーイング	前期2単位	後期2単位
服装造形 ドレーピング	前期2単位	後期2単位

1. マイ・クリエーション	46コマ(前期) デザイン・パターン・実物制作・レポート
2. 皮革作品	40コマ(前期) デザイン・パターン・実物制作・レポート
3. モードコピー	18コマ(前期) 1/2 シーティング制作
4. ヴィオネ演習	12コマ(後期) 1/2 シーティング制作
5. 特殊素材	44コマ(後期) デザイン・パターン・実物制作・レポート
6. フォーマル素材	35コマ(後期) デザイン・パターン・実物制作・レポート
7. 自由研究	17コマ(後期) デザイン・パターン・実物制作
8. ドレーピング	40コマ(前期・後期) 三面構成ジャケット・ドレープ・トワリスト

評価方法・対象・比重

- ・服装造形論 . . . 筆記試験、レポート
- ・デザイン、ソーイング . . . 制作物
- ・パターンメイキング . . . 提出物、実技試験
- ・ドレーピング . . . 提出物、実技試験

主要教材図書

パターンマジック、ヴィオネ副読本、ファッション大系服飾造形講座(スーツ、コート、高級素材、特殊素材)
アパレル生産講座(立体的裁断応用)

参考図書 GAP

その他資料

記載者書名欄 西平 孝子

科コード	11813	科 名	服飾専攻科 デザイン専攻 1 組	単 位	2
科目コード	08026	科目名	量産技術実習Ⅱ（2W）	授業期間	前期（集中）

担当教員（代表）：渡井 邦重	共同担当者：上野和博、佐藤明彦
----------------	-----------------

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）

アパレル産業の生産プロセスに基づき、工業製品としての生産方法と管理活動について理解することを目的とする。

授業内容は企画業務としてのデザイン発想から設計業務としてのパターン作成、製造業務としてのライン縫製そして商品管理業務としての品質検査までとし、重衣料であるコートの量産をグループワークで実習する。品質（Q）・原価（C）・納期（D）の観点から体系的にアパレル生産を学び、生産活動の専門知識習得が目標である。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

I. ガイダンス（1コマ）

- ① 授業の目的
- ② タイムテーブルの確認
- ③ デザイン、仕様、パターンチェック

II. 工業用パターン作成（1コマ）

- ① 担当教員紹介
- ② フルパターン作成（表・裏・芯・スレキ）
- ③ ゲージパターン作成

III. サンプル裁断（2コマ）

- ① サンプル見積もりマーキング
- ② サンプル裁断
- ③ サンプル縫製準備

IV. サンプル縫製（3コマ）

- ① 役割毎にサンプルを縫製
- ② サンプルの確認および検査（検査基準書作成）

V. サンプルチェック及び帳票類作成（2コマ）

- ① サンプル確認及びパターン修正
- ② 工程分析表、縫製仕様書、加工裁断芯貼り指図書、作業標準書、表紙作成
- ③ 作業割り当て、座席表作成

VI. マーキング実習（1コマ）

- ① CADを使用したマーキング実習（東レ Crea Comp o 使用）
- ② 最終の見積もりを算出
- ③ 裁断用下紙準備

VII. 裁断実習（2コマ）

- ① 裁断実習（自動裁断機使用）
- ② 芯貼り、仕分け、縫製準備

VIII. ミーティング（1コマ）

- ① 帳票類を読み合わせ、縫製前の打ち合わせをおこなう

IX. 縫製（14コマ）

- ① 帳票類に基づき学生主導による生産をおこなう
- ② 縫製技術や検査方法、進捗の指導

X. まとめ（1コマ）

- ① 製品検査

評価方法・対象・比重

出欠席・授業態度・実習提出物により総合的に評価

主要教材図書

文化ファッション大系「アパレル生産管理」、「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」

参考図書

その他資料

記載者書名欄 渡井 邦重

科コード 11813	科 名 服飾専攻科 デザイン専攻 2組	単 位 2
科目コード 08026	科目名 量産技術実習Ⅱ	授業期間 前期（集中）

担当教員（代表）：渡井 邦重	共同担当者：加藤紀人
----------------	------------

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）

アパレル産業の生産プロセスに基づき、工業製品としての生産方法と管理活動について理解することを目的とする。

授業内容は企画業務としてのデザイン発想から設計業務としてのパターン作成、製造業務としてのライン縫製そして商品管理業務としての品質検査までとし、重衣料であるコートの量産をグループワークで実習する。品質（Q）・原価（C）・納期（D）の観点から体系的にアパレル生産を学び、生産活動の専門知識習得が目標である。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

I. ガイダンス（1コマ）

- ④ 授業の目的
- ⑤ タイムテーブルの確認
- ⑥ デザイン、仕様、パターンチェック

II. 工業用パターン・生産指示書作成（3コマ）

- ④ 担当教員紹介
- ⑤ フルパターン・ゲージパターン作成（表・裏・芯・スレキ）
- ⑥ 生産指示書作成（工程分析表、作業標準書、作業割当表）

III. マーキング実習（1コマ）

- ④ CADを使用したマーキング実習（東レ Crea Comp o使用）
- ⑤ 最終の見積もりを算出
- ⑥ 裁断用下紙準備

IV. 裁断実習（2コマ）

- ③ 裁断実習（自動裁断機使用）
- ④ 芯貼り、仕分け、縫製準備

V. アパレル生産機器の使い方（3コマ）

- ② 工業用ミシン・アイロンの地用方法、設定方法

VI. 縫製実習（14コマ）

- ③ 帳票類に基づき学生主導による生産をおこなう
- ④ 縫製技術や検査方法、進捗の指導

VII. まとめ（2コマ）

- ② 製品検査

評価方法・対象・比重

出欠席・授業態度・実習提出物により総合的に評価

主要教材図書

文化ファッション大系「アパレル生産管理」、「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」

参考図書

その他資料

記載者書名欄 渡井 邦重

科コード 11813	科 名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	1
科目コード 49000	科目名 ファッション特論	授業期間	通年

担当教員(代表)：西平 孝子	共同担当者：1組＝西平 孝子 2組＝安島 直美
----------------	-------------------------

教育目標・レベル設定など

ファッション業界の一般的専門知識を学ぶと共に情報を収集するための専門知識を得る

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- ・ファッション情報 トレンド解説 パリ・ミラノ・東京 (90分×2) 講師検討中
- ・皮革の一般知識 衣料用皮革の扱い方と現状 (90分×2) 長谷川 修 氏
- ・毛皮の一般知識 (90分×2) 梨本 チエ子 氏
- ・ニットの知識 カット・ソーの縫製(量産機器使用) (90分×3) 田才 由美子 氏
升崎 富美子 氏
- ・ドレーピングテクニック デザイン画選択よりデモンストレーション (90分×2) 樋口 吉徳 氏
- ・モードを引き立たせる小道具 世界の布・小道具の鑑賞 (90分×2) 中川 清美 氏

評価方法・対象・比重

出席、発表、製作物

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

なし

記載者書名欄 西平 孝子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11813	科 名 デザイン専攻	単 位	1 単位
科目コード 50900	科目名 造形演習	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 酒井英実	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

創造力と発想力、造形力と構成力、これら基礎能力の理解と主体的な獲得を目的とし、各自のデザイン制作への反映と活用を目標とする。造形構成力・表現力の養成を各自の目標にして物づくりにおける質の高い試行錯誤を経験してもらいたい。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	
2	紙の造形	17	
3	鑑賞	18	
4	プラスチック造形の経験	19	
5	ボンド技法	20	
6	風景画	21	
7	コラージュ他	22	
8	スクラッチ	23	
9	HOTBONND	24	
10	まとめ・ポートフォリオ	25	
11	映像	26	
12	アート	27	
13	まとめ	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

出席状況、授業態度、課題提出、提出内容を総合的に判断

主要教材図書	特になし
参考図書	特になし
その他資料	

記載者氏名 酒井英実

科コード 11813	科 名 デザイン専攻科 1組・2組	単 位	1単位
科目コード 50100	科目名 クロッキー	授業期間	(前期)

担当教員(代表)：北川 和男	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

人人物クロッキーを描く事で、服飾デザインの起源となる人体の構造・動 感等を分析する観察力を学び、また多様な画材（鉛筆、ペン、墨、パス テルなど）を試みることで表現の幅を拡げ、各人のデザイン画制作などへの反映と活用を目標とする。

- 前期（14コマ） -

[I]ポートレイト

人の顔という複雑な形態を描写する時も、構造（単純な形態の集合体であるという）として捉える観察力を養うことがこの課題の主眼である。一枚の描画時間は 10～20 分。

[II]人物-1/クロッキー

クロッキーにおいては比較的長い時間をかけて描画する。時間に追われずに人物の基本姿勢の描画を学習する。
描画時間は 10 分・15 分。

[III]人物-2/クロッキー

人物を短い時間（3分～5分）で描写していく（クロッキー）。最初は、10分程の比較的クロッキーとしては長い時間をかけて描写していくが、最期は3分という短い時間で描写していく。様々なポーズのクロッキーを描く事で、人物の構造と動感を把握する事が目標である。また、鉛筆以外の多様な画材（墨、木炭、パステル、クレヨン、ペンなど）にも目を向けさせ、素材の違いによる各自の表現の可能性を広げてゆく。

[IV]人物-3/クロッキー

モデルを使いヌードを描く。人体の構造・運動感（ムーブマン）などを描写、本授業の総まとめと位置付ける。

方法：実習（参考作品・資料映像をプロジェクターを用いて表示した講義・解説を含む）

また、各課題の終了時には講評を行う。

制作物：クロッキー帳 1冊

コマ数：(全14コマ)、[I]-4コマ、[II]-4コマ、[III]-4コマ、[IV]-2コマ

初回準備物：B4 または F6 サイズのクロッキー帳 1冊（クロッキー帳は、スパイラル綴じのものに限る）

鉛筆（HB～6Bまでの間で5・6本）、練りゴムまたは消しゴム、カッターナイフ

評価方法・対象・比重

課題制作物（授業をととしてクロッキー帳 1冊）の評価に比重をおき、出席率を加味して総合的に評価する。

主要教材図書

参考図書

その他資料授業では課題説明の際に、随時に参考関連作品等の資料映像をプロジェクターにて鑑賞させる。

記載者氏名 北川 和男

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11813	科 名	デザイン専攻	単 位	単位 3
科目コード	51136	科目名	ファッションデザイン画Ⅲ	授業期間	通年（ ）

担当教員(代表) 岡本あずさ	共同担当者： 水野雅己
----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

各自のデザインテーマに向けて独自の発想を具体化し表現できる実力を身につける

改めて各種画材の特徴、可能性を知ること、デザインの表現テクニックを強化する

見せる、伝えるためのプレゼンテーション方法自分をアプローチする方法を常に考え表現することを目標とする

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション ・ ポーズの復習	16	(A) での設定したテーマ コンセプトを軸に
2	↑画材研究	17	サブテーマとしてアイテムをプラス
3	↑マーカー ・ パステルテクニック	18	アイテムデザインの可能性を考える
4	↓	19	↓
5	↑テーマからのデザイン展開 (A)	20	↑テーマからのデザイン展開 (バリエーション) ㊟
6	各自年間テーマを設定し、研究をし	21	(A) のテーマ・コンセプトから提案したい
7	自分の軸となるデザインワークへとつなげる	22	オリジナルテキスタイルを制作・素材表現
8		23	を含めてデザイン展開を考える
9	↓	24	
10	↑テーマからのデザイン展開 (コンテスト)	25	↓
11		26	↑テーマからのデザイン展開 (バリエーション) ㊟
12		27	(A) テーマ・コンセプトに対して錯視・錯覚
13		28	的効果の手法、アイデアをプラス
14	↓	29	デザインの可能性を考える
15	↑テーマからのデザイン展開 (バリエーション) ㊟	30	

評価方法・対象・比重

提出課題を中心とし、その作品、出席状況及び授業態度による総合評価

主要教材図書

参考図書

その他資料 各分野での展示会カタログアーティストの本 卒業生の参考作品等

コマ	内 容	コマ	内 容
31	↓	16	
32	↑ テーマからのデザイン展開（バリエーション） d	17	
33	校内ファッション画展 （パネル制作）	18	
34		19	
35		20	
36	↓	21	
37	↑ テーマからのデザイン展開（バリエーション） e	22	
38	（A）のテーマを軸にサブテーマをプラス	23	
39	デザインの広がりを考える	24	
40		25	
41	↓	26	
		27	
		28	
		29	
		30	

評価方法・対象・比重

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11813	科 名	服飾専攻科デザイン専攻	単 位	1 単位
科目コード	41900	科目名	西洋服装史特論	授業期間	半期（後期）

担当教員（代表）：菊田 琢也	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

20 世紀以降のファッションがどのような思想、社会状況、隣接する文化領域との関連のなかで発展し、歴史を紡いでいったのかについて考察する。その際に、衣服制作を支える裁断・縫製・素材といった技術の発達史および産業史にも留意する。また、各回ごとに現在のファッション現象と照合して見ていくことを通じて、歴史が現在と地続きであることへの気づきを促し、現状と今後について考える手段と姿勢を養う。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	イントロダクション：歴史を学ぶとは	16	
2	オートクチュールの誕生とデザイナーの自立	17	
3	身体の再発見：ポール・ポワレとマドレーヌ・ヴィオネ	18	
4	ファッション・デザインとモダニズム：ガブリエル・シャネル	19	
5	アートとファッションの交流：エルザ・スキャパレリからマーク・ジェイコブスまで	20	
6	ファッションと流行：クリスチャン・ディオール	21	
7	若者の時代：スペース・エイジとスウィング・ロンドン	22	
8	ファッションと既製服：ブレタボルテと日本人デザイナー	23	
9	路上からランウェイへ：ヴィヴィアン・ウエストウッドの仕事	24	
10	ジャパニーズ・アヴァンギャルド・ファッション：三宅一生、山本耀司、川久保玲	25	
11	アンドロジナスな身体：クラブカルチャーとその周辺	26	
12	アントワープ・ファッション：ファッションにおける歴史性と革新性	27	
13	ミニマリズムとは何か：ジル・サンダー、ミウッチャ・プラダ、ヘルムート・ラング	28	
14	身体的美醜：アレキサンダー・マックイーン、ジョン・ガリアーノ	29	
15	「マイクロ・ポップ」な創造者たち：周縁化する現在のファッション・シーンについて	30	

評価方法・対象・比重

出席、授業態度を重視する。学期末にレポートを提出してもらい、最終的な評価を判断する。

主要教材図書

毎回、プリントを配布する。

参考図書 文化服装学院編『服飾関連専門講座⑪ 改訂版・西洋服装史（文化ファッション体系）』文化出版局 2012、成実弘至『20 世紀ファッションの文化史』河出書房新社 2007、ブリュノ・デュ・ロゼル（西村愛子訳）『20 世紀モード史』平凡社 1995 他

その他資料

記載者氏名

科コード	11813	科 名	服飾専攻科デザイン専攻	単 位	1 単位
科目コード	20110	科目名	アパレル染色演習 I	授業期間	前期

担当教員(代表)：	伊藤 望	共同担当者：	菅野 めぐみ
-----------	------	--------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

染色に関する基礎的な知識と技法を、各種の実験・実習を通じて得ることにより、アパレルにおける新たなデザイン発想と可能性を広げる。さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。

1. 染色概論	(1 コマ)	(講義)
・ 主な染料の種類と特徴		
・ 染料と繊維の染色適正		
・ 染料と繊維の結合とその過程染色条件について		
2. 原毛染色	(1 コマ)	(実習)
・ 羊毛の酸性染料による浸染法		
3. フェルト制作	(2 コマ)	(講義・実習)
・ 羊毛の縮絨性について		
・ 原毛からのフェルト制作の方法		
4. 絞り染め	(3 コマ)	(講義・実習)
・ 絞りによる防染の仕組みについて		
・ 絞りの技法と染色法について		
5. 顔料による型紙捺染	(3 コマ)	(講義・実習)
・ 捺染の種類と版式について		
・ 顔料の特徴と染料との違い		
・ 特殊プリント加工について		
・ 型紙制作と顔料の刷り込み方法		
6. オパール加工	(2 コマ)	(講義・実習)
・ オパール加工の仕組みと適した素材について		
・ オパール糊の刷り込み方法とベーキングの方法		
7. 転写・マーブル染め	(2 コマ)	(講義・実習)
・ 分散染料による乾式転写プリントの仕組み		
・ 手描き図案による転写方法		
・ 顔料タイプのマーブル染めの方法		

評価方法・対象・比重

実習ごとのレポートおよび制作物を中心に、出席状況、課題提出状況、授業態度も評価に含める。

主要教材図書	文化ファッション大系 服飾関連専門講座③アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者氏名 伊藤 望

2015年度 カリキュラム科目概要

科コード 11813	科 名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	1
科目コード 71500	科目名 ピンワーク	授業期間	後 期

担当教員(代表)：多田 園江

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

布地を中心としたピンワークの基礎技術の習得。一枚の布から立体を製作し布の動き、流れを理解して造型感覚を高める。さらに繰り返し練習する事で色彩、形、素材への拘りや美に対する意識や感受性を養い新たな服造への発想へとつなげる

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

I. ピンワークについての概要－①テキスト、資料等でピンワーク概要を説明(講義)

②ビデオでディスプレイの現場紹介(レース展示会、クリスマス実施作業現場ほか)

③ピンワーク基本技術(示範と実習)

ボディを使用して 布の扱い方、ピンの扱い方の実習 (2)

II. ピンワークの基礎技術－①アンピエ、ドゥブルピエ

ボディを使用して ひだのとり方、ピンの打ち方の師範と実習(4)

②ドレープ

マネキンの扱い方

マネキンを使用してバイアスドレープの師範と実習 (1)

③ギャザリング

マネキンを使用してギャザーの寄せ方とリズム感、ボリューム感表現の師範と実習(1)

④タッキング

美しいしわづけの方法とより立体的な布の造形を製作 示範と実習 (2)

⑤ウール、チュールなどいろいろな素材の扱いと空間構成の基本実習 (2)

III 異素材による自由創作－①布以外の素材を使用して「ブライダル」をテーマに応用創作

発想から、デザイン、準備、製作と組み立てる事もポイント(2)

(紙、ビニール、網…eto)

評価方法・対象・比重

実習、を通しての作品評価(個人又はグループ)

授業態度、出欠状況も含める

主要教材図書 文化ファッション大系ファッション流通講座⑧ディスプレイ・VP・VMD
文化服装学院編

参考図書 テーマによって関連資料を紹介

その他資料 テーマによって関連資料を紹介

記載者書名欄

多田 園江

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11813	科 名	服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	1
科目コード	61100	科目名	ファッションマーケティング	授業期間	前期

担当教員(代表) : 波多野 辰美	共同担当者 :
-------------------	---------

教育目標・レベル設定など

アパレル業界に於けるマーケティング業務の実務を講義と演習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ ファッションマーケティングの概要 (講義) コマ数＝6

アパレルのマーケティングに必要な理論と方法を解説する

- ・マーケティング業務オリエンテーション
- ・ファッションマーケットの現状と問題点
- ・ブランドとは、その定義
- ・アパレルブランド構築の方法論
- ・VMDの必要性とSKU算出法の解説と実践
- ・カセット企画とは
- ・MDマップの意味と作成方法

テーマ ファッションマーケティングの実践 (講義、グループ演習) コマ数＝7

マーケットで「売るため」の企画のシミュレーション

各グループで既存ブランドの企画作業を企業と同様の手順で行う

- ・ターゲット設定と分析
- ・コンセプト設定
- ・イメージマップ作成
- ・スタイリングマップ作成
- ・MDマップ作成
- ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重

課題レポート、シミュレーションの完成度、出席日数

主要教材図書

レジュメ使用

参考図書

その他資料

記載者書名欄

科コード 11813	科名 服飾専攻 科 デザイン専攻	単 位	2
科目コード 34000	科目名 帽子（選択）	授業期間	後期

担当教員（代表）： 太田 泉	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

1. 帽子の一般常識と帽子に対する知識を深める。服飾に於ける帽子の位置づけを理解させる。
2. トータルイメージを表現する力を養う。作品製作を通して帽子のイメージ、服とのバランス感覚などを把握

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I・オリエンテーション 講義・演習 [2コマ]

- ① 帽子の形の種類・素材・木型・用具など専門性の説明
- ② 夏物帽子（夏物帽体）のデザイン相談・導入・製作開始

II・実物製作 4点

（1）夏物帽子（夏物帽体） 講義・演習 [6コマ]

- ① 麻・水草繊維等天然繊維の専門素材による実物製作
- ② 木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導

（2）布帛の帽子 講義・演習 [6コマ]

- ① 基礎作図からパターンの応用、製作方法の指導
- ② 仮縫い製作
・方法、芯地の選び方、縫製技術についてデザイン別、素材別の指導

（3）冬物帽子（フェルト帽体） 講義・演習 [8コマ]

- ① ウールフェルト・ファーフェルトなどの帽子用フェルト帽体による実物製作
- ③ 木型・スチームボイラーを用いての蒸気によるデザイン別成型法の指導

（4）フォーマルハット・修了作品 講義・演習 [8コマ]

これまで学んだ事を総合した応用作品とする

- ① フォーマル、ウェディング、カクテル、ステージなど目的は広範囲である、目的に合わせたドレスとのコーディネートを検討したデザインで製作。
- ② 帽子専門芯地での土台芯の製作による土台芯の扱い方
- ③ 土台芯への布の扱い方。薄物生地、ベルベット、ドレス共布等布別、形別の方法
- ④ トリミング製作、仕上げ方…花、パール、羽根等材料別扱い方、まとめ方

評価方法・対象・比重

作品・授業姿勢 8：2

主要教材図書 文化ファッション大系 ファッション工芸講座① 帽子基礎編

参考図書 欧米理容美容の歴史

その他資料 コスチューム資料質標本

記載者書名欄 太田 泉

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11813	科 名 服飾専攻科デザイン専攻	単 位	2 単位
科目コード 56220	科目名 グラフィックワーク(選択)	授業期間	(30)

担当教員(代表) : 佐谷 眞樹	共同担当者 : 野田
------------------	------------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アドビ・イラストレーターを使っての精密なハンガーイラストの作成及びデザインデータの展開、先染柄やプリント柄の図案作成などを学び、デザイン提案書・ポートフォリオを、C.G.を利用して効果的に表現できるようにする。

また、デザイン画もC.G.で描く事を学び、デザイン・企画の展開スピードのアップと「見る人にとってわかりやすい」表現を習得する。

デザイナーに必要なビジュアル・プレゼンテーションの為にCG データ作成を習得する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	イラストレーターの基本理解	16	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース
2	ハンガーイラストを描く基本を学ぶ	17	スタイル画を描く=人体ベースに服を加えて描く
3	シャツを描く=本体、袖、衿を描く	18	スタイル画を描く=人体ベースに服を加えて描く
4	シャツを描く=ステッチ・ポケットの作成	19	スタイル画を描く=デザインを展開したイラスト
5	シャツを描く=肩ヨークや切り替えパーツ作成	20	スタイル画を描く=アイテムを展開したイラスト
6	シャツを描く=フリル・ペプラムの表現	21	スタイル画を描く=色や柄を展開したイラスト
7	シャツを描く=デザインの効果的な展開方法	22	イラストレーターでのレイアウトを学ぶ
8	描いたシャツを展開	23	デザインポートフォリオの制作
9	柄の作成=ストライプ・チェックを作る	24	デザインポートフォリオの制作
10	柄の作成=プリント柄&モノグラムを作る	25	デザインポートフォリオの制作
11	ジャケット・スカート・パンツを描く	26	デザインポートフォリオの制作
12	ジャケット・スカート・パンツを描く	27	デザインポートフォリオの制作
13	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース	28	デザインポートフォリオの制作
14	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース	29	デザインポートフォリオの制作
15	人体のベースを描く=顔、身体、手足をトレース	30	デザインポートフォリオの制作

評価方法・対象・比重
課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書
参考図書 なし
その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷眞樹

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12203	科 名 服飾専攻科デザイン専攻	単 位	2 単位
科目コード 56220	科目名 グラフィックワーク(選択)	授業期間	(30)

担当教員(代表)：佐谷 眞樹	共同担当者： 野田
----------------	-----------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アドビ・イラストレーターを使っての精密なハンガーイラストの作成及びデザインデータの展開、先染柄やプリント柄の図案作成などを学び、デザイン提案書・ポートフォリオを、C.G.を利用して効果的に表現できるようにする。

また、デザイン画もC.G.で描く事を学び、デザイン・企画の展開スピードのアップと「見る人にとってわかりやすい」表現を習得する。

デザイナーに必要なビジュアル・プレゼンテーションの為に CG データ作成を習得する。

授業概要＝テーマ（大・中・小）、方法（講義・実習・実験・リサーチ・グループ活動など）、制作物、

テーマ：（大）コンピューター利用して表現するビジュアルなプレゼンテーションの修得及び展開力の向上

（中）イラストレーターによるイラスト・テキスタイル図案・小物デザインなどの作成

（小）フォトショップ操作によるテキスタイルの色展開

授業内容：イラストレーターによるハンガーイラスト及デザイン画の作成

イラストレーターによる柄の作成

イラストレーターによるテキストデータの作成

フォトショップによる先染め柄のシュミレーション

イラストレーターを使って企画書を編集

授業方法：生徒の前で実演する

生徒に実習させ、個々の作業をサポートする

学習用のデータを配布

制作物：デザイン・ポートフォリオの作成

使用パソコン及びソフト：imac アドビ イラストレーターCS5 ・アドビ フォトショップCS5

評価方法・対象・比重

課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書
参考図書 なし
その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷眞樹

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11813	科 名	服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	2 単位
科目コード	20120	科目名	アパレル染色演習Ⅱ（選択）	授業期間	前期

担当教員(代表): 伊藤 望	共同担当者: 菅野 めぐみ
----------------	---------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アパレル染色演習Ⅰで修得した基礎技法をもとに、応用的な技法に取り組み、染色・加工に関する知識と技術の幅をさらに広げることを目標とする。この科目の最終課題において、これまでに実験・実習した技法を用い、独創的で実用性のあるテキスタイルを企画・制作し、それをプレゼンテーションする能力を身につける。

1. 染色概論	(0.5コマ)	(講義)
・ 染色についての基礎知識の復習		
2. 三原色染料の混色によるカラートライアングルの作成	(1.5 コマ)	(実習)
・ 三原色の色出して作成できる色の理解		
3. 色出し実験・実物染色	(2 コマ)	(講義・実習)
・ 希望色に近づけるための染料混色実験と、そのデータをもとにしたの実物染色		
4. 捺染	(8 コマ)	
・ 顔料と各種バインダーのプリント		(講義・実習)
・ 反応染料のオーバープリントと防染プリント		(講義・実習)
・ 酸性染料の着色抜染プリントと藍の白色抜染プリント		(講義・実習)
・ デジタル演習室施設見学		(講義)
・ アルミ剥離プリント		(講義・実習)
5. 絞り加工	(2 コマ)	(講義・実習)
・ 繊維の特性を活かした絞り		
6. 素材創作	(12 コマ)	(実習)
・ 習得した染色・加工の知識と技法を生かした生地企画		
7. 発表	(2 コマ)	(実習)
・ 染色に関する知識・技術・企画意図について各自が工夫をして発表		

評価方法・対象・比重

- ① 染色演習における修了課題の制作物とプレゼンテーションの内容
- ② 実習ごとのレポートおよび制作物
- ③ 出席状況、課題提出状況、授業態度 の比重で評価する。

主要教材図書	文化ファッション大系 服飾関連専門講座③アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者氏名 伊藤 望

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11813	科 名	服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	1
科目コード	31050	科目名	アート・ジュエリー	授業期間	後期

担当教員(代表)：中川 清美	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。新しい素材を取り込み服とのコーディネートを意識したオリジナリティの高いアートアクセサリー制作、そして服作りのヒントにと意識している。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <ol style="list-style-type: none"> アートアクセサリー鑑賞レクチャー 参考作品の素材説明とアイディア提案 樹脂の扱い方 アメリカンフラワーの扱い方説明 アートアクセサリー制作実習 アクリル絵の具、助剤について 塗料を使って金属の腐食した感じを出す方法の説明・中川作品鑑賞 アートアクセサリー制作実習 アンティークボタン ブレードの鑑賞を通して19世紀モードについて アートアクセサリー製作実習 アールヌーボ・デコのジャンクアクセサリー鑑賞を通して 20世紀モードについて アートアクセサリー製作実習 仕上げ 中川コラボレーション作品鑑賞 シルバー粘土について、特性・扱い方の説明 制作実習 シルバー粘土制作実習 応用作品について仕上げ

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>作品提出・英字評価</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄

科コード 11813	科 名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	1
科目コード 98130	科目名 特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：西平 孝子	共同担当者：1組＝西平 孝子 2組＝安島 直美
----------------	-------------------------

教育目標・レベル設定など

デザイナーの現場、プロから見た仕事に対する心構え、内容、流れなど現場での実務を聞き、学生の方向性、意識の向上をはかる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

・ファッションデザイナーの役割	デザイン発想におけるテーマ	(90分×1)	宮前 義之 氏
・ファッションデザイナーの役割	仕事内容・実務の解説	(90分×1)	佐谷 真樹 氏
・ファッションデザイナーの役割	デザイン発想におけるテーマ	(90分×1)	藤原 大 氏
・ファッションデザイナーの役割	現在の業界事情	(90分×1)	山田 祐二 氏
・ファッションデザイナーの役割	デザイン発想におけるテーマ	(90分×1)	馬淵 明恵 氏
・起業の心構え	仕事内容・実務の解説	(90分×1)	レンミッコ 柴田 士郎 氏、小川 明子 氏
・ブランドにおけるプレスの役割	プレスの業務と位置付け	(90×1)	本田 貴裕 氏
・スポーツウェアの基礎知識	スポーツウェアマーケットの商品開発	(90×1)	羽田 武幸 氏
・ユニフォームの基礎知識	企業ユニフォームのマーケットと 商品解説	(90×1)	佐古 かがり氏
・マーケットトレンド情報	ファッション、サブカルチャーの情報	(90×1)	村瀬 昌広 氏
・VMD売り上げが伸びる売り場作り	仕事内容・実務の解説	(90分×1)	福田 博秀 氏
・流行色解説	2016 S/S 2016・2017 A/W	(90分×1)	中村 芳道 氏

評価方法・対象・比重	出席
------------	----

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者書名欄 西平 孝子

科コード 11813	科 名 服飾専攻科 デザイン専攻	単 位	4
科目コード 97910	科目名 専攻科卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表)：西平 孝子	共同担当者：1組＝西平 孝子 2組＝安島 直美
----------------	-------------------------

教育目標・レベル設定など

全ての教科目の集大成として各自の知識・感覚・技術を集結させ、オリジナリティーに富む作品作りを目指す。
合わせて、卒業制作ショーを行いさらに今後のデザイン活動へ向けてデザインソースの蓄積をはかる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- ・ 各自のコンセプトによりデザイン発想し、制作する。
- ・ アイテム、素材、自由
- ・ 作品の完成度を上げるテクニックで縫製する。
- ・ 卒業制作ショーの舞台効果を考えたコーディネートをする。
- ・ 卒業制作ショーの企画、演出を行う。

評価方法・対象・比重

- ・ レポート・提出物、

主要教材図書
なし

参考図書 GAP

その他資料

記載者書名欄 西平 孝子